

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S13-03-01		
施設名	下田臨海学園				
所在地	静岡県下田市柿崎17-27				
部課名	教育委員会事務局学務課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	1968年	下田市から取得	-	-
	増改築①	1988年	620,998	0	0
増改築②	2016年	150,000	0	0	150,000
併設施設					
竣工年月日	昭和43年7月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和43年7月1日	職員数	0~4人程度	0~10人程度	
構造	RC造(本園舎)、S造(増設園舎)		階層	2階(本園舎)、1階(増設園舎)	
面積	敷地面積		7,192.87 m <sup>2</sup>		
	延床面積		3,153.91 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	荒川区立学校の児童及び生徒の心身の健康増進と集団生活に対する理解を図る。				
関連部署	指導室				
根拠法令等 設置条例	荒川区立夏期学園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社 クックランド	期間	平成20年度	から まで
事業内容	春及び秋に小・中学校の移動教室を実施し、夏期休業期間中に小学校の臨海学園（夏期施設）を実施している。施設の管理運営業務や児童・生徒の賄業務等については業務委託している。				
対象者	荒川区立学校の児童及び生徒				
運営時間等	運営時間	2泊3日で施設に宿泊し、移動教室及び臨海学園を実施。			
	休日				

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	臨海学園参加者数(人)		1,358	1,441	1,437	0
移動教室参加者数(人)		2,396	2,384	2,431	0	2,555
臨海学園参加率(%)		97	98	98	0	-
移動教室参加率(%)		96	96	97	0	100
に指定 等 管理 費						

備考 臨海学園は小学校4年生、移動教室は小学校6年生及び中学校2年生を対象に実施している。また、増設園舎については、平成28年に開設しリース利用していたが、令和元年7月より区所有の建物になった。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	80,473	32,157	▲ 48,316	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	1,127	11,584	10,457	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	4,542	138	▲ 4,404	使用料及び手数料	114	114	0	
減価償却費	17,558	23,187	5,629	その他	7,719	0	▲ 7,719	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,833	114	▲ 7,719	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 95,867	▲ 66,952	28,915	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	103,700	67,066	▲ 36,634	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 95,867	▲ 66,952	28,915	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 95,867	▲ 66,952	28,915	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
有形固定資産	328,476	306,661	▲ 21,815	その他の流動負債	1,761	1,761	0	
土地	87,041	87,041	0	固定負債	6,018	14,256	8,238	
建物	764,026	764,026	0	特別区債	0	10,000	10,000	
建物減価償却累計額	▲ 522,591	▲ 544,406	▲ 21,815	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等	4,209	4,209	0	その他の固定負債	6,018	4,256	▲ 1,762	
工作物等減価償却累計額	▲ 4,209	▲ 4,209	0	負債の部合計	7,779	16,017	8,238	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	332,077	300,651	▲ 31,426	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	332,077	300,651	▲ 31,426	
その他の固定資産	11,380	10,007	▲ 1,373	負債及び正味財産の部合計	339,856	316,668	▲ 23,188	
資産の部合計	339,856	316,668	▲ 23,188					

備考 行政費用では、委託料としての物件費が多くなっている。主な内訳としては、施設管理運営・賄業務委託、設備保守業務委託等がかかっている。また、維持補修費については、本園舎多目的室冷暖房機取付工事、火災通報装置交換工事等によるものである。行政収入では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う事業の中止のため、参加児童賄収入等がなかった。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	79	81	69	71.4	
	1㎡当たりコスト(円)	34,471	33,817	32,880	21,264	
	利用者1人当たりコスト(円)	28,422	27,883	26,810	0	
	経費に占める収入の割合(%)	7	7	8	0.2	
備考	収入は賄費の保護者負担である。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	夏期施設参加率(%)	目標値 100 実績値 97	100 98	100 100	- -	- -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成20年度から管理運営業務を委託。 ○ 無					
利用者・地域のニーズ	任意参加である夏期施設においても例年9割以上の児童が参加。児童参加率は高く、各学校の取組みも積極的であり、施設の必要性は高い。					
現状・課題	○本園舎(2,303.32㎡)の改築後30年が経過し、施設や機械・設備の老朽化が進行しており、計画的な修繕や更新が必要である。 ○令和2年度に策定された荒川区教育施設長寿命化計画を基に、施設の長寿命化を図る。					
課題に対する現時点での考え	○老朽化設備等の修繕や更新を計画的に実施する。					
議会、利用者等からの意見	老朽化している施設や設備等の改修。					

